

三、總括

第四 本邦造船能力と將來船舶の増加 三七

一、現在本邦造船能力 一、現在造船所 二、最近新造船調査表

二、將來造船高 一、現在造船契約高 二、現在造船計畫 八、大阪市及附近造船所現況

三、總括

第五 陸上技術員として船員の需要 四四

一、官公署

二、船舶會社

三、海運關係業

四、商船學校

五、各船舶會社の豫備員

第四章 總括 五二

第一 現狀 五二

一、海技免狀受有者 一、員數 二、內容 二、下級船員

第二 將來 五五

船員の需給關係の現況

第一章 總論

方今海運界の隆盛に伴ひ海員問題は各種の關係に於て益々重大の影響を生じつゝあり。而して海運政策上
海員問題は船舶及び海運企業者の問題と共に其根底をなすべきものにして、之が解決の適否如何は直に帝國
海運業將來の運命を左右するに至るべし。之れ爲政者及び營業者が宜敷常に本問題に周到の注意を拂ひ之が
最も公平なる、最も正確なる解決に到達せむ事を努むべき所以なりとす。

而して海員問題とは頗る廣汎なる内容を有するものなりと雖も現下最も重要なものは、(一)海員の地位
問題、(二)海員の待遇問題なりとす。而して海員の保護、養成、素質改善、會社的地位の向上等は前者の内
容に屬し、又海員の給食料額の決定、船内生活に關する設備改善、家庭に關する事項、及び遭難船員遺族の
救護等は後者の内容に屬す然れ共一步を進めて考ふるに是等の海員問題の多くは普海員の需要供給の關係に
重大なる關係を有す、實に海員需給關係は多くの海員問題解決の鍵鑰たらざるべからず。

吾人茲に見る處あり、以下少しく海員の需給關係を調査し以て海員問題の根本が果して如何なる所に芽せ
るや、又之が解決は如何に爲すべきやを研究せむと欲す。

然れ共之に關する調査材料は今日の制度と狀態の下に於ては到底完全正確なるものを蒐集し難し殊に吾人